



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月27日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格 (TEL) 03-6229-8900  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,568	33.1	2,190	16.2	2,337	23.6	1,365	23.7
24年3月期第1四半期	4,184	24.6	1,886	46.4	1,890	52.3	1,103	62.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,437百万円 (22.0%) 24年3月期第1四半期 1,177百万円 (89.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2,582.24	2,569.05
24年3月期第1四半期	2,105.79	2,081.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,213	17,573	76.4
24年3月期	23,017	17,480	73.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,976百万円 24年3月期 16,913百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 現時点において、平成25年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	23.2	4,100	17.5	4,100	17.7	2,400	18.4	4,539.62
通期	23,000	20.8	9,000	17.7	9,000	16.9	5,300	18.0	10,024.99

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 1株当たり予想当期純利益については、平成25年3月期第1四半期期中平均株式数528,679株に基づいて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	528,750株	24年3月期	528,628株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	528,679株	24年3月期1Q	524,112株

(注) 平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、平成24年7月27日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	10
(7) 会計方針の変更等 .....	11
(8) 注記事項 .....	11
(9) 重要な後発事象 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第1四半期連結累計期間において5千人増加の22.8万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(http://www.AskDoctors.jp/)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」(http://askmn.jp/)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind★ココロ日記」(http://askmd.jp/)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」等の新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社(以下「メビックス」という)、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社(以下「エムスリーキャリア」という)、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社(以下「アイチケット」という)、医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社(以下「リノ・メディカル」という)、200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する株式会社エムプラス(以下「エムプラス」という)、首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロット(以下「メディカル・パイロット」という)、近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エス(以下「フジ・シー・アール・エス」という)においてもサービス展開を進め、グループ会社も拡大しています。

また、平成24年6月28日から平成24年7月26日まで、治験業務の支援を行う株式会社MICメディカル(以下「MICメディカル」という)に対して株券等の公開買付けを実施しました。本公開買付けの結果、MICメディカルは平成24年8月2日をもって当社の連結子会社となる予定です。

海外においては、米国で、当第1四半期連結累計期間において、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」の医師会員が1.8万人増加し22.2万人となり、この会員基盤を活かした製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開が順調に進んでいます。また、英国で19万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limited(以下「DNUK」という)においても、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を進めています。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人の医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	平成25年3月期 第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	比較増減		(参考)
					前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	4,184	5,568	+1,383	+33.1%	19,040
営業利益	1,886	2,190	+304	+16.2%	7,648
経常利益	1,890	2,337	+447	+23.6%	7,695
四半期(当期)純利益	1,103	1,365	+261	+23.7%	4,492

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		平成24年3月期 第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	平成25年3月期 第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	比較増減	
医療 ポータル	セグメント売上高	3,160	3,870	+710	+22.5%
	セグメント利益	1,886	2,221	+335	+17.8%
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	449	652	+203	+45.2%
	セグメント利益	111	68	△42	△38.4%
海外	セグメント売上高	536	919	+382	+71.3%
	セグメント利益	8	34	+26	+316.1%
その他	セグメント売上高	102	191	+89	+87.9%
	セグメント利益	10	29	+18	+186.7%
消去又は全社	セグメント売上高	(64)	(65)	—	—
	セグメント利益	(125)	(15)	—	—
合計	売上高	4,184	5,568	+1,383	+33.1%
	経常利益	1,890	2,337	+447	+23.6%

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、2,191百万円（前年同期比17.5%増）となりました。会員向けに配信したメッセージ量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比15%増となったこと等により、全体としては前年同期比17.5%の増収となりました。

調査分野の売上高は300百万円（前年同期比1.1%増）となり、堅調に推移しました。

その他分野の売上高は、1,378百万円（前年同期比38.2%増）となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及び求人広告事業が拡大しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、3,870百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加等の要因により、1,644百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は2,221百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

②エビデンスソリューション

メビックスにおいて各プロジェクトが進捗したことにより増収となった他、メディカル・パイロット、フジ・シー・アール・エスが新たに連結子会社に加わったことにより、売上高は652百万円（前年同期比45.2%増）となりました。また、前年同期に一部の臨床試験の内容変更に伴う原価率の改善による一時的な利益が発生したことの反動等により、セグメント利益は68百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

③海外

米国子会社M3 USAにEMS Research及びDNUKを加えた米英の売上高は、製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大と調査サービスの拡大及びDNUKが新たに連結子会社に加わったことにより、898百万円（前年同期比79.5%増）となり、韓国を含めた海外セグメントの売上高は919百万円（前年同期比71.3%増）となりました。また、海外セグメントの利益は34百万円（前年同期比316.1%増）となりました。

④その他

その他セグメントの売上高は、リノ・メディカル及びエムプラスの連結対象期間の差異（前年同期の1ヶ月に対し、当第1四半期連結累計期間は3ヶ月）等の要因により、売上高は191百万円（前年同期比87.9%増）となりました。また、セグメント利益は、リノ・メディカルの利益改善等により29百万円（前年同期比186.7%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,568百万円（前年同期比33.1%増）、営業利益は2,190百万円（前年同期比16.2%増）、経常利益は2,337百万円（前年同期比23.6%増）、四半期純利益は1,365百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比804百万円減の22,213百万円となりました。現金及び預金が1,973百万円減少したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比1,933百万円減の12,885百万円となりました。また、株式会社メディサイエンスプランニング株式の取得等により投資有価証券が1,421百万円増加したことを主な要因に、固定資産は1,128百万円増の9,328百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比897百万円減の4,640百万円となりました。法人税の支払等により未払法人税等が1,089百万円減少したことを主な要因に、流動負債は925百万円減の4,168百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比93百万円増の17,573百万円となりました。剰余金配当1,321百万円を行った一方、四半期純利益1,365百万円を計上したことにより利益剰余金が43百万円増加したことが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より1,944百万円減少し、7,727百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、349百万円の収入(前年同期比90百万円の収入減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,335百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,895百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、株式会社メディサイエンスプランニングへの出資に伴う投資有価証券の取得による支出1,240百万円等により、1,107百万円の支出(前年同期比907百万円の支出増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、1,213百万円の支出(前年同期比160百万円の支出減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」サービスの利用量の増加を中心とした継続的な拡大を見込んでいます。

調査分野は、製薬会社を中心とした着実な需要を背景に、調査サービスが堅調に推移すると見込んでいます。

その他分野においては、エムスリーキャリア及び「治験君」の成長を中心に、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、一層の成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、大型プロジェクトの進捗に加え、メディカル・パイロット及びフジ・シー・アール・エスが増収に寄与する一方、前連結会計年度に一部の臨床試験の内容変更に伴う原価率の改善による一時的な利益が発生したことの反動等により、増収減益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米国において「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービスや調査サービス等が拡大するとともに、DNUKも増収増益に寄与する見込みです。

④その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケットのサービス拡大の他、リノ・メディカル及びエムプラスの貢献等により増収増益を見込んでいます。

これらを踏まえ、平成25年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位：百万円)

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 業績予想	差異
売上高	19,040	23,000	+3,960
営業利益	7,648	9,000	+1,352
経常利益	7,695	9,000	+1,305
当期純利益	4,492	5,300	+808

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (7) 会計方針の変更等」をご参照ください。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,167,541	8,194,250
受取手形及び売掛金	3,609,928	3,640,278
商品	2,605	2,720
仕掛品	89,325	95,935
その他	989,408	982,316
貸倒引当金	△40,351	△30,137
流動資産合計	14,818,458	12,885,364
固定資産		
有形固定資産	289,413	280,540
無形固定資産		
のれん	4,778,174	4,544,248
その他	852,979	813,146
無形固定資産合計	5,631,154	5,357,394
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649,097	3,070,336
その他	754,197	726,871
貸倒引当金	△124,374	△106,842
投資その他の資産合計	2,278,920	3,690,365
固定資産合計	8,199,488	9,328,299
資産合計	23,017,946	22,213,664
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	481,343	461,191
未払法人税等	1,963,472	874,037
ポイント引当金	806,102	842,841
その他の引当金	158,688	145,132
その他	1,684,568	1,845,399
流動負債合計	5,094,174	4,168,603
固定負債		
退職給付引当金	12,998	13,298
繰延税金負債	71,435	113,247
その他	358,805	344,923
固定負債合計	443,239	471,469
負債合計	5,537,414	4,640,072
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,280,488	1,293,781
資本剰余金	1,508,881	1,522,174
利益剰余金	13,802,845	13,846,451
株主資本合計	16,592,214	16,662,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,301	415,191
為替換算調整勘定	44,626	△101,069
その他の包括利益累計額合計	320,927	314,122
新株予約権	105,079	118,864
少数株主持分	462,310	478,197
純資産合計	17,480,532	17,573,591
負債純資産合計	23,017,946	22,213,664



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,184,387	5,568,367
売上原価	984,892	1,367,075
売上総利益	3,199,495	4,201,291
販売費及び一般管理費	※1 1,313,369	※1 2,010,425
営業利益	1,886,125	2,190,866
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	114,443
その他	27,060	64,142
営業外収益合計	27,060	178,585
営業外費用		
為替差損	22,303	25,432
その他	280	6,385
営業外費用合計	22,584	31,818
経常利益	1,890,601	2,337,634
特別利益		
負ののれん発生益	35,012	—
特別利益合計	35,012	—
特別損失		
持分変動損失	—	2,207
子会社清算損	3,907	—
特別損失合計	3,907	2,207
税金等調整前四半期純利益	1,921,706	2,335,426
法人税、住民税及び事業税	693,696	814,112
法人税等調整額	32,771	66,052
法人税等合計	726,467	880,164
少数株主損益調整前四半期純利益	1,195,238	1,455,261
少数株主利益	91,571	90,085
四半期純利益	1,103,666	1,365,176

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,195,238	1,455,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,050	138,899
為替換算調整勘定	△22,155	△154,531
持分法適用会社に対する持分相当額	△171	△2,191
その他の包括利益合計	△17,276	△17,824
四半期包括利益	1,177,961	1,437,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,087,982	1,358,370
少数株主に係る四半期包括利益	89,978	79,067

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,921,706	2,335,426
減価償却費	40,705	42,248
のれん償却額	53,647	94,714
負ののれん発生益	△35,012	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△114,443
子会社清算損益(△は益)	3,907	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	88,083	39,074
その他の引当金の増減額(△は減少)	△59,224	△38,727
受取利息及び受取配当金	△8,141	△8,815
為替差損益(△は益)	22,303	25,432
持分法による投資損益(△は益)	△17,059	△26,888
売上債権の増減額(△は増加)	△153,134	△65,312
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,526	6,511
その他の流動資産の増減額(△は増加)	25,995	△105,958
仕入債務の増減額(△は減少)	△108,183	△12,371
未払費用の増減額(△は減少)	10,422	5,967
前受金の増減額(△は減少)	21,035	△1,255
その他の流動負債の増減額(△は減少)	25,284	35,231
その他	15,810	11,876
小計	1,860,673	2,222,709
利息及び配当金の受取額	24,325	24,251
利息の支払額	62	△2,825
法人税等の支払額	△1,445,665	△1,895,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	439,396	349,065
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,822	△15,721
定期預金の払戻による収入	50,000	—
拘束性預金の払戻による収入	—	30,726
有形固定資産の取得による支出	△45,801	△11,242
無形固定資産の取得による支出	△20,517	△17,597
投資有価証券の取得による支出	△8,230	△1,240,996
投資有価証券の売却による収入	—	148,443
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△225,767	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	52,993	—
その他	△259	△639
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,404	△1,107,027
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△100,654	—
長期借入金の返済による支出	△79,838	—
株式の発行による収入	11,314	25,589
配当金の支払額	△1,187,839	△1,197,643
少数株主への配当金の支払額	△16,758	△51,556
その他	—	10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,373,774	△1,213,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,127	27,485
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,148,909	△1,944,086
現金及び現金同等物の期首残高	9,393,831	9,672,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 8,244,921	※1 7,727,953

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,097,408	449,410	535,558	4,082,377	102,010	4,184,387
セグメント間の内部売上高 または振替高	63,008	—	1,077	64,085	124	64,209
計	3,160,416	449,410	536,635	4,146,462	102,134	4,248,597
セグメント利益	1,886,480	111,102	8,282	2,005,864	10,123	2,015,988

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	2,005,864
「その他」の区分の利益	10,123
セグメント間取引消去	△7,348
全社費用(注)	△118,038
四半期連結損益計算書の経常利益	1,890,601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,806,042	651,202	919,309	5,376,553	191,813	5,568,367
セグメント間の内部売上高 または振替高	64,585	1,220	—	65,805	65	65,870
計	3,870,627	652,422	919,309	5,442,358	191,879	5,634,237
セグメント利益	2,221,688	68,430	34,466	2,324,585	29,024	2,353,609

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社メディサイエンスプランニングの株式を取得し、持分法適用の範囲に含めています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、エビデンスソリューションセグメントにおいて、1,233,724千円増加しています。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	2,324,585
「その他」の区分の利益	29,024
セグメント間取引消去	△4,529
全社費用(注)	△11,446
四半期連結損益計算書の経常利益	2,337,634

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理及び投資活動にかかる費用です。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法を採用する一方、一部の海外連結子会社では定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、当社及び主要な国内連結子会社においては定額法に変更しております。

これは、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における有形固定資産の増加が見込まれること、また、当社及び主要な国内連結子会社の有形固定資産の保有状況を見直した結果、耐用年数内で安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から変更するものです。

この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

(6) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(持分法適用の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社メディサイエンスプランニングについては、新たに株式を取得したことから、持分法適用の範囲に含めています。

(7) 会計方針の変更等

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法を採用する一方、一部の海外連結子会社では定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より当社及び主要な国内連結子会社においては定額法に変更しております。

これは、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における有形固定資産の増加が見込まれること、また、当社及び主要な国内連結子会社の有形固定資産の保有状況を見直した結果、耐用年数内で安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から変更するものです。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(8) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
	(千円)	(千円)
報酬・給与	370,368	607,034
販売促進費	218,135	328,224
賞与引当金繰入額	28,056	71,907
ポイント引当金繰入額	88,083	40,699

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
	(千円)	(千円)
現金及び預金勘定	8,641,165	8,194,250
預入期間3ヶ月超の定期預金	△286,009	△384,518
拘束性預金	△110,234	△81,777
現金及び現金同等物	8,244,921	7,727,953

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月25日 取締役会	普通株式	1,310,100	5,000	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月26日 取締役会	普通株式	1,321,570	2,500	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

(注) 平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2,105.79円	2,582.24円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額（千円）	1,103,666	1,365,176
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	1,103,666	1,365,176
普通株式の期中平均株式数（株）	524,112	528,679
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,081.31円	2,569.05円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	6,164	2,714
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前第1四半期連結累計期間の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(9) 重要な後発事象

1 株式取得による会社等の買収

平成24年6月27日開催の取締役会において、株式会社MICメディカル(以下「MICメディカル」という)の株式及び新株予約権に対する公開買付けの開始を決議し、平成24年6月28日から本公開買付けを実施していましたが、平成24年7月26日をもって本公開買付けが終了しました。

この結果、平成24年8月2日付でMICメディカルの普通株式13,558株(総議決権に占める割合96.7%)を取得し、当社の連結子会社となる予定です。

2 株式分割

平成24年7月27日開催の取締役会において、次のとおり株式分割による新株式の発行を決議しました。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額の引下げ及び株式の流動性向上により、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

平成24年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する当社普通株式1株につき3株の割合をもって分割します。

②分割により増加する株式数

平成24年6月30日現在の発行済株式総数	528,750株
今回の分割により増加する株式数	1,057,500株
株式分割後の発行済株式総数	1,586,250株
株式分割後の発行可能株式総数	5,760,000株

(注) 上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

(3) 株式分割の日程

平成24年9月30日を基準日とし、平成24年10月1日を効力発生日とします。

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における「1株当たり情報」の各数値は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1株当たり四半期純利益金額	701.93円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	693.77円

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1株当たり四半期純利益金額	860.75円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	856.35円